

[別紙⑦]

第1学年 学級活動 学習指導略案

- 1 主 題 自分の好きなものを伝えよう
- 2 ね ら い
- 自分の好きなものを言ったり、友だちの好きなものを認めたりして、温かな人間関係を形成しようとする態度を養う。
  - 性別に関わらず、自分の好きなものを表現しても良いこと、友だちの好きなものをそのまま受け入れることの大切さやすばらしさに気付くことで、個性を表現でき、互いを認め合う態度を身に付けさせる。
- 3 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習2-(2)-ア
- 4 展 開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 本時のめあてを知る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つかむ</span>	○ 今日は、自分の好きなものを伝え合う時間とします。	○ 教師の好きなものを見せ、言いやすい雰囲気づくりをする。
じぶんのすきなものをつたえよう。		
2 自分が好きな服やキャラクターのシールを選んでワークシートに貼り、発表する。	○ 自分の着たい服や好きなものを貼りましょう。完成したら友だちと見せ合ひましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>私はスカートが好きだな。</li> <li>人形が好きだからはろうかな。</li> <li>○○さんは、ズボンが好きなんだね。</li> </ul> ○好きなものを理由と合わせて発表しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ミニーマウスがかわいいから好きです。</li> <li>虫を選びました。かっこいいからです。</li> <li>ピンクは可愛いし、女の子の色っぽいから好きです。</li> </ul>	○ 友だちが何を選んだのか知るために、近くの席の子とシートを見せ合うようにする。  ○ 「男の子だから」「女の子だから」ということばが出てきたときは、児童が考えている男の子と女の子の違いが、固定されたイメージに基づくものだとすることに気付かせる。
3 好きなものについて悩んでいる事例について話し合う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">さぐる</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みつける</span>	○ 先生は「プリキュアが好き」と言って笑われました。好きなものを好きと言って笑われたり、変だと言われたりしたらどう思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>嫌な気持ち。</li> <li>好きなものを好きと言っただけなのに。</li> </ul> ○ なんと声をかければ良いと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>いいね。</li> <li>好きなものは、男女関係ないよ。</li> </ul>	○好きなものを否定されたらどうか、自分に置きかえて考えさせることで、固定したイメージにとらわれていることに気付くことができるようにする。
4 ワークシートを見直す。	○ 「本当はこれも好き。」というものがあれば、上や横に貼ったり書き足したりしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>女の子でもズボンの方が好きな子がいる。</li> <li>男の子でもミニーマウスが好きな子がいる。</li> <li>自分の好きなものを「いいね。」と言われるとうれしい。</li> <li>友だちの好きなものを、もっと知りたいな。</li> </ul>	○ 自分の好きなものを言ったり、友だちの好きなものを認めたりしようとする言動をすることが大切であると気付かせ、生活に生かしていこうとする意欲を育てる。
5 まとめとふり返りをする。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">きめる</span>	○ 今日の学習の感想を書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなものを発表して楽しかった。</li> <li>友だちの好きなものを教えてもらってうれしかった。</li> <li>○○さんが、△△が好きだなんて知らなかった。</li> </ul>	